

# 南の島で過ごす大切な4日間



～平成27年 沖縄までの旅～



▲あたたかい歓迎と楽しい交流の時間を共にした読谷村の皆さんとともに

## なんくるないさー（沖縄の方言）

くじけずに正しい道を歩むべく努力すれば、いつか良い日が来る

沖繩を感じ、  
ふるさと・飯館村を知る旅

村の小学6年生が、自然や文化、命・平和の大切さを学ぶ「沖縄までの旅」。村内外の小学校に通う49人が、7月19日～22日の4日間、11人のスタッフと共に、真夏の沖縄を旅しました。

子どもたちは1日目・2日目に首里城の見学やシーサーの色付け体験などを通して沖縄の歴史・文化に触れ、また、平和祈念公園や嘉手納基地、読谷村を訪ね戦争・平和について学びました。旅の3日目には、沖縄の子どもたちと交流し、ビーチや水族館では豊かな自然を体験。最終日は、国際通りで観光県・沖縄のパワーと空気に触れてきました。

「村の良いところを  
守り続けたい」

沖縄に飛び立つ前、事前研修で自分たちのふるさと・飯館村について改めて学んだ子どもたち。「村のよいところ」「30年後どんな村になってほしいか」を真剣に話し合いました。

子どもたちの目には、沖縄とふるさと・飯館村がどんな風に映ったのでしょうか。この旅を経験し、一回りも二回りも大きく育ったいたってっ子の夏をお伝えします。



▲「平和祈念公園・平和の火」戦後70年の今、平和について学びました